

～持続可能な水道事業の構築を目指して～

持続可能な 水道事業

脱炭素社会の実現に向けたチャレンジ

再生可能エネルギー由来電力の調達や、デマンドレスポンスの導入、電気自動車等の導入拡大や給水スポット設置など、多様なアプローチで、福岡市が目指す **2040 年度ゼロカーボンシティの実現**に向けてチャレンジしていきます。



浄水場に設置している
太陽光発電パネル



可搬式給水スポットによる
おいしい水道水体験

世界に広がる多様な価値観

— SDGs、Well-being など —

世界では、持続可能な社会の実現を目指すSDGsや、身体的・精神的・社会的に良好な状態であることを意味するWell-beingなど、地球環境保全や心豊かな暮らしなど多様な価値感を重視する時代になっており、これらの視点も取り入れながら、水道事業を運営していきます。



福岡市の水道を 未来へつなぐ ために

福岡市水道事業管理者
坂本 秀和



福岡市の水道事業は、令和5（2023）年で創設100周年を迎えます。

水資源に恵まれていない福岡市では、長年にわたり、水源開発を進めてまいりましたが、令和3（2021）年の五ヶ山ダムの供用開始をもって、その取組みの完了を迎えることができました。この大きな節目を迎えるにあたり、水源地域・流域の皆さまや国・県をはじめとする関係団体の皆さまなど、多くの関係者の方々に改めて深く感謝申し上げます。

近年、水道事業を取り巻く環境は、施設の大量更新期を迎えるとともに、災害の激甚化・頻発化や人口減少社会の進展など、大きく変化しています。また、SDGsやWell-beingといった人や環境にフォーカスした、経済的な価値以外の要素が重要な判断基準となる時代となっています。

このような時代の変化の中、今後とも、施設の強靱化や水道ICTの推進、水の有効利用に取り組むとともに、市民満足度を高めていくための施策の推進など、ハードとソフトの両面から、たくましく、しなやかに取組みを進めていきたいと考えています。

福岡市の水道事業を次の世代に健全な形で確実に引き継いでいくため、そして、これからの100年も安全で良質な水道水を安定供給していけるよう、持続可能な水道事業の構築に向けて、全力でチャレンジしてまいります。

引き続き、関係者の皆さまのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。